

```
<p>
```

きょうはくもりの天気でした。

明日は晴れのいい天気になるでしょう。

```
</p>
```

```
<p>私のWebページは<a href="example.html">こちらのページ</a>です。
```

```
</p>
```

```
<p>入力はこちらです<input type="text"></p>
```



はい、枠線が引けました。あれ、テキストの中で横に伸びないで縮こまっています。

そうですね、コンテンツ内の要素は重箱の中でかまぼこやウィンナーを詰めたような形になるんです。よく覚えておいてください。



はい、お弁当を作っている感覚ですね。先生、お腹がへりました！

5. コンテンツのスタイル

もう少し時間があるので、コンテンツをスタイルするCSSを見ておきましょう。例えば次のようなHTMLのコンテンツにCSSを適用させます。

```
<p>こんにちは。</p>
```

color

文字の色を指定

```
p{color:gray;}
```

- ・色はキーワード（red、green、blue）等の他、カラーコード（例えば「#ff0000」は赤）を使用できる

font-size

文字の大きさを指定

```
p{font-size:16px;}
```

- ・ 文字の大きさは16pxが標準。その他一文字分の文字の大きさの単位「em」などがある

font-weight

- ・ 文字の太さを指定：

```
p{font-weight:bold;}
```

- ・ boldは太字。数値でも指定できるがフォントが対応していないことが多いので、実質boldしかない

text-align

- 文字を揃えを指定：

```
p{text-align:center;}
```

- ・ テキストの揃えを「center」「right」「left」で指定する

text-decoration

- ・ 文字の装飾を指定

```
p{text-decoration:none;}
```

- ・ 「underline」は下線、「overline」は上線、「text-through」は取り消し線
- ・ 例えばa要素では自動的に下線がついているので、それを無効にするには値は「none」

line-height

- ・ 行高を指定：

```
p{line-height:20px;}
```

- ・ 1行目と2行目の間が空くので文章が見やすくなる。段落と段落の間はmarginを使う



先生、お腹がぐ〜っと。。。

はい。ちょうどいい時間なので、今日はここまでにしましょう。